

なくそう、ゴミの不法投棄 ～村内の各集落で清掃作業実施～



たくさんのゴミを拾いました



ぼくもゴミ拾いましたよ！

4月に入り徐々に暖かくなるとともに、路肩を覆っていた雪もなくなり、春を感じさせる季節になりました。しかし、残念なことに、冬の間、雪に隠されていたゴミも同時に顔を出してきました。

そのような中、村の貴重な自然や景観を守りゴミのない住みよい環境を整備しようと、4月中旬から下旬にかけて村内各集落で、各地区の清掃作業が行われました。この取り組みは今年で10回目となりましたが、これまでの清掃作業の継続により、「ゴミを捨てない、捨てさせない」という意識が広がり、年々、ゴミの量は減少傾向にあります。

しかし、大型のゴミの不法投棄や捨てられるゴミの量は減少していますが、まだまだ多くの空き缶やペットボトル等がポイ捨てされています。

これからも清掃作業を継続し、不法投棄のない、住みよい村を目指しましょう。

火災のない明るい毎日を！ ～平成22年春季火災予防運動防火パレード出動式～



村長訓示



防火パレードへ出動

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節を迎えることから、住民自らの防火に対する意識を一層高めてもらい、火災から大切な生命や財産を守ることを目的として、4月12日から4月18日まで平成22年春季火災予防運動が実施されました。運動初日の4月12日（月）、東通消防署では署員約35名が参加し、住民の防火意識の高揚を図るための防火パレードの出動式が行われました。

防火パレードに先立ち、越善靖夫村長から、「職員が一致団結して、地域住民の生命、財産を守るという使命感のもと、職務に専念していただきたい」と訓示が述べられました。

その後、署員により小型動力ポンプ付水槽車1台、消防車4台、救急車2台、広報車2台、指令車1台の車両点検が行われた後、防火パレードに出動し、「消えるまで ゆっくり火の元にらめっ子」の全国統一防火標語のもと、村内各地で火災の未然防止や注意を呼びかけました。

雪が融け、暖かくすごしやすい季節となりましたが、空気が乾燥し、強風となることも多いため、火災の発生しやすい時季にあります。ひとりひとりが火の取扱いに十分注意し、火事のない明るい毎日を過ごしましょう。